

世帯と人口

(8月1日現在)

世帯	43,816	(+ 70)
人口	118,884人	(+ 84)
男	60,727人	(+ 37)
女	58,157人	(+ 47)

この数値は平成12年国勢調査人口を基に異動人口を加算し集計したものです

広報えびな

編集・発行

海老名市役所 広報広聴課

〒243-0492

神奈川県海老名市勝瀬175番地の1

☎ (046) 231・2111

URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

*この広報は再生紙を使用しています。

広場ではいつも住民同士の懇談が…



えびな模様…さつき町から

「交流」育てた白亜のまち

親睦はまず子どもから

市の花の名を持つさつき町は、30年前に市制が施行されてから最初にできた町です。かつては一面の田園でしたが、厚木駅に近いことから分譲団地が建設され、各地から多くの方々が移り住んできました。白亜の建物群と緑で形成されていることが、この「町」の特徴です。

「最近では、団地に限らず近所同士のコミュニケーションが希薄といわれていますが、この団地の方たちは昔から互いに助け合う気質があり、こうした傾向は今も続いています」と話すのは、この団地の管理会社。

とはいえ、町が誕生した昭和48年当時は住民のほとんどが初対面同士。お互いのつながりを深めることが急務でした。そのため、当時の自治会は子どもがいる家庭が多いことに着目し、ドッジボールなどの子ども向け催し物を数多く開催しました。子ども同士で仲良くなれば、保護者の間も親睦が深まると考えました。

その甲斐あって、住民同士のつながりは急速に深まってきました。当時の様子を知る方は、「20代から30代と互いに年齢が近いせいも、打ち解け合うのも早かったようです」と。

住民の結束ぶりは、年に5回の清掃活動が、団地の発足以来今なお続いていることからもうかがえます。この「美化デー」では新入居者の紹介も行われ、その後の近所付き合いに大いに役立っているそうです。



作業所売店でも交流が

また、さつき町は青少年会館や医療センターなど、公共施設が多いことも特徴ですが、その一つ「わかば作業所」では、2年前から、障害を持つ方々が季節の野菜などを敷地内の売店で販売しています。開店は週2回ですが、町内のみならずは買い物に訪れる度に、持ち前の「さつき町気質」で障害者の方々とコミュニケーションを深めています。

団地で生まれ育った人の中には、成人・独立後も住み続ける例も多いとか。自分を培ったコミュニケーションが、今もこの町に息づいているせいかもしれません。

さつき町 アラカルト

◎人口(平成13年8月1日現在)
2,250人(男1,107人・女1,143人)

◎世帯
866世帯

◎面積
0.14平方キロメートル
〔市全面積 26.48平方キロメートル〕

◎地名の由来
団地の入居予定者などから公募した結果を5案(さつき町・桜堤・すみれ野・中河町・五大縄町)に絞り、その中から市議会で決定。